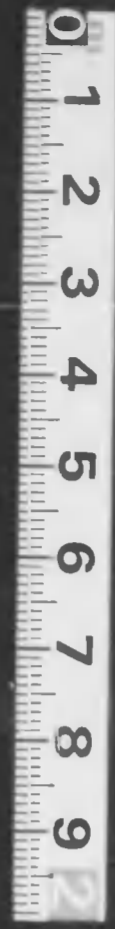


週寫眞
報

情報局編輯

九月十六日 第二千八百七十一號

九月二十日は航空日



札立の時

(日曜水)

號三十四第

軍神加藤少將が撃墜マークを描いておられる。しかし、これは少將が愛機の胴ではなく、僕たちの心の上に「後の空をしつかり頼みますゾ」といふマークを描いておられるのに違ひない。さうだ、僕たちはこのマークを胸に秘めて、大東亞の空にいかう

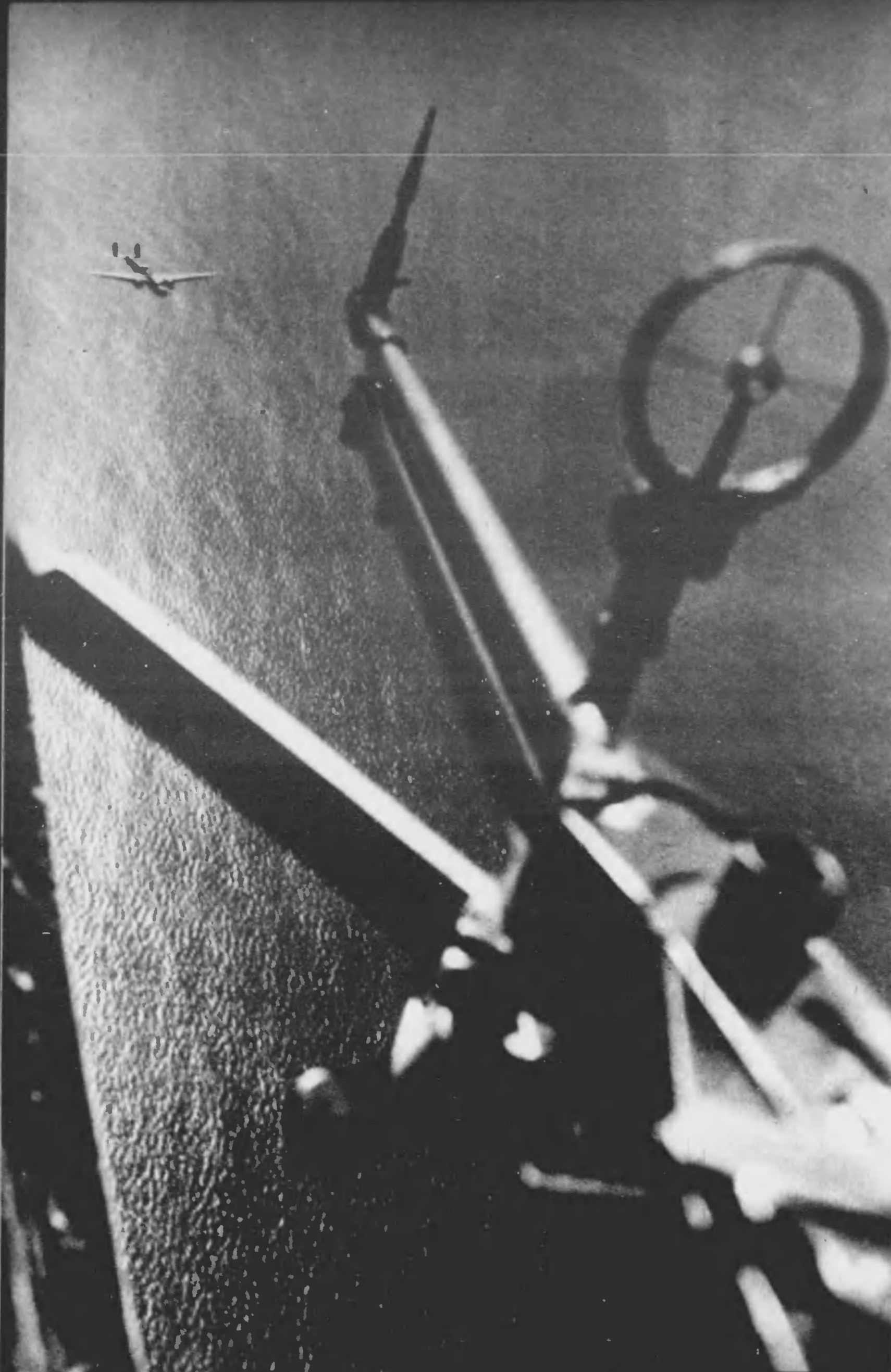


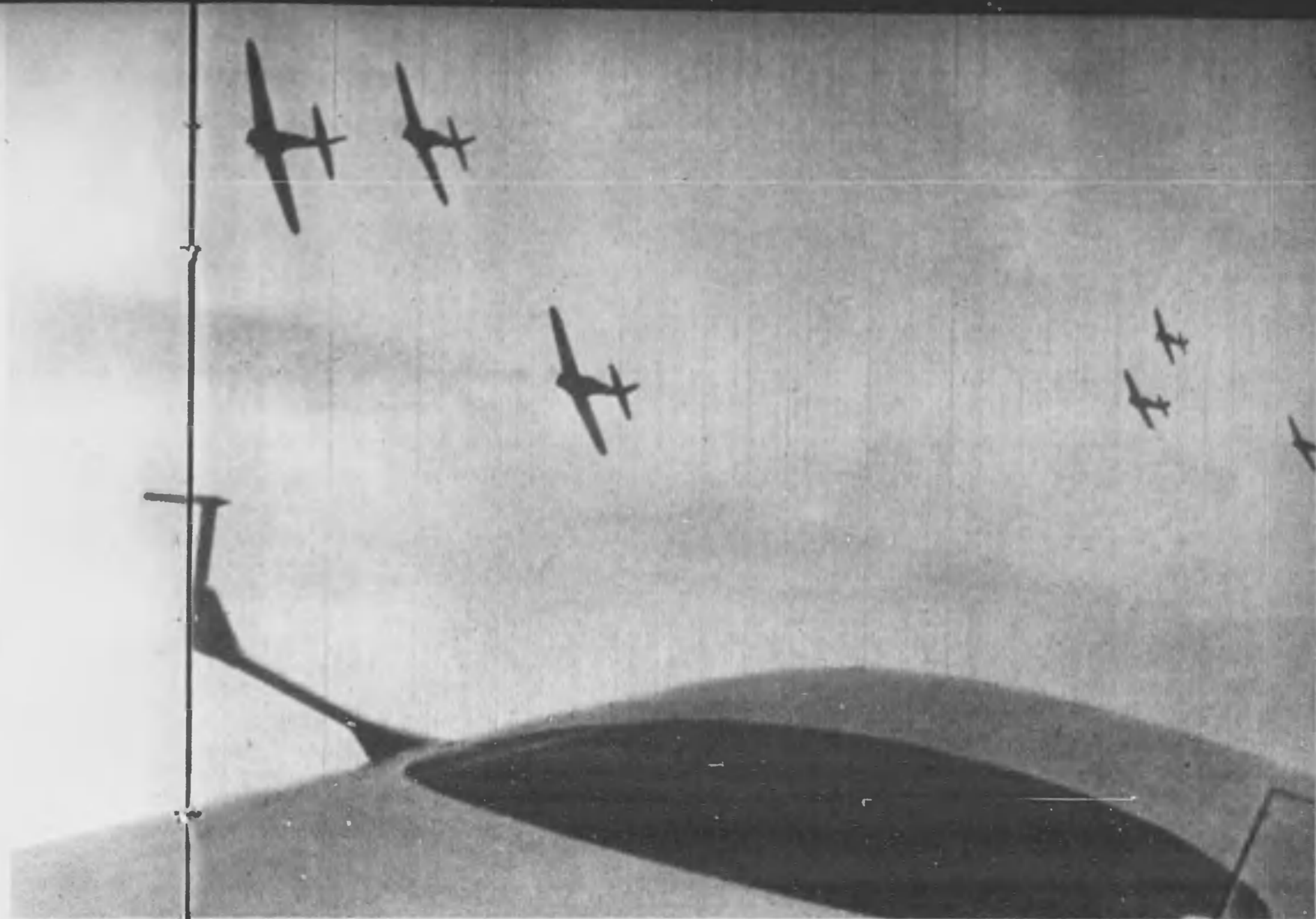
敵の反攻睨んで

作戦地域がひろがるにつれて哨戒線もまた延びてくる。哨戒線は三重と張り廻らされてゐるが、その尖端を受持つものは遠く索敵に向ふ飛行機と艦隊の特性をもつてゐる潜水艦である。緒戦以來懸々たるわが

海戦戦果の緒は常に艦平として哨戒の任務につく尖端部隊の慧眼にあつた。渺々たる太平洋上わが海軍は敵艦にいらだつ敵の反撃にそなへて萬全の哨戒にけふも機翼を張る

撮影 山崎海軍報道班員





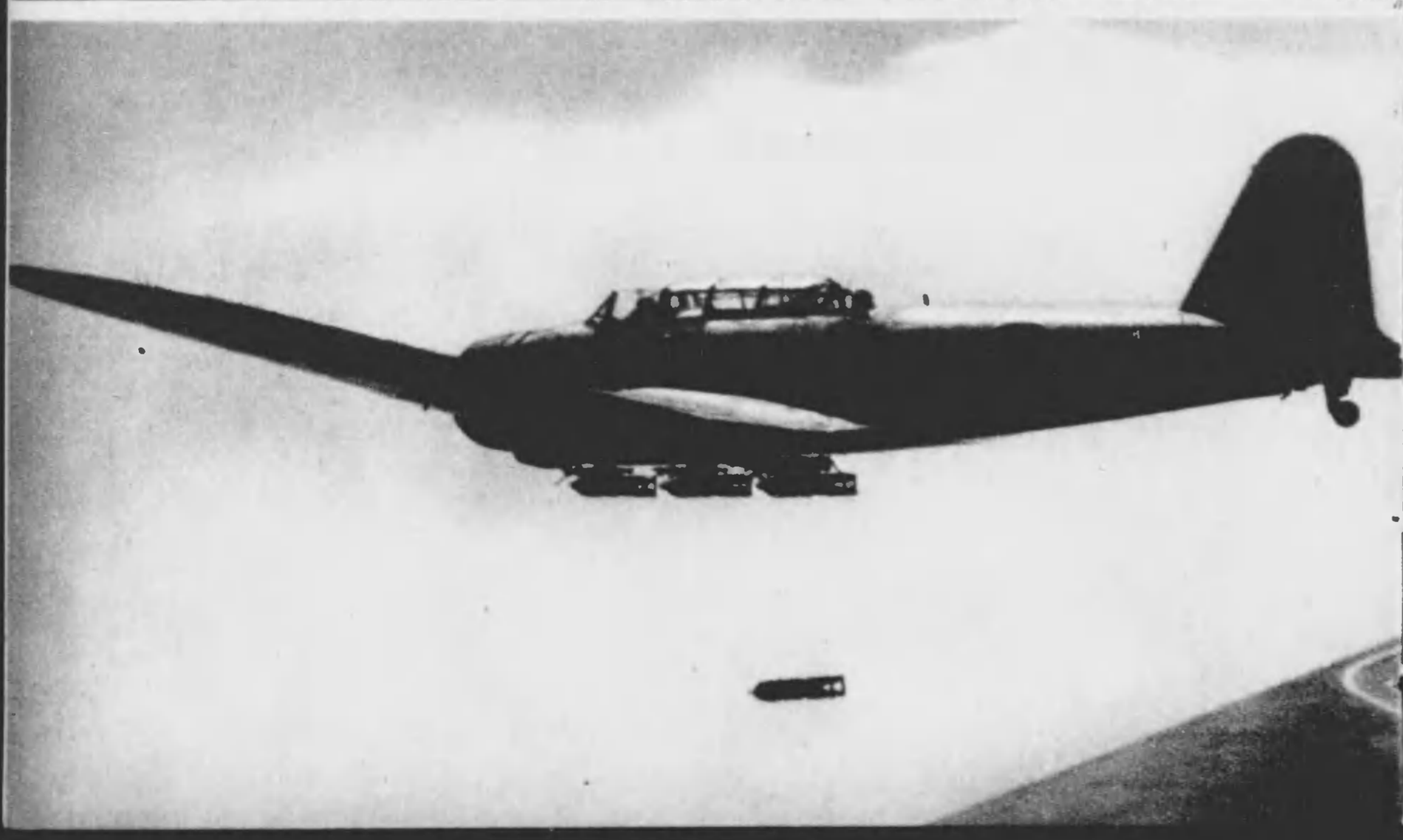
敵空軍の恐怖

調子は上々。出動直前の陸軍新鋭戦闘機「隼」
軍神加藤少将の愛機は「隼」だった。大東亜の青空を疾風のやうに駆けめぐって敵空軍を片っ端からたゞきにしたその威力の物語には、アメリカの戦闘機カーチスP-40も、イギリスの戦闘機スピットファイアも、ホーカーハリケーンもつひに尻尾を巻いた。實に「隼」は世界一の戦闘機だ。
工員の腕と魂が「隼」を生んだ。整備員の腕が「隼」を育んだ。これを操つたのが吐と魂の人、軍神加藤少将だった。かくて「隼」は敵空軍の恐怖の的となった。今日その「隼」はさらに進歩改良されてゐる。この機を操る第二、第三の加藤少将も日本の航空隊にはうんとある。そして更にこれに續くのは僕たちだ。こんどは僕たちの番だぞ。僕たちこそは断然明日の日本の、加藤少将だ。
↑指揮官機について編隊は大きく旋回した。
□積雲の陰から見敵必殺の二機は猛然急降下、敵機に挑みかゝる

日本空軍陸 影録



我が幾倍の新鋭空母あり

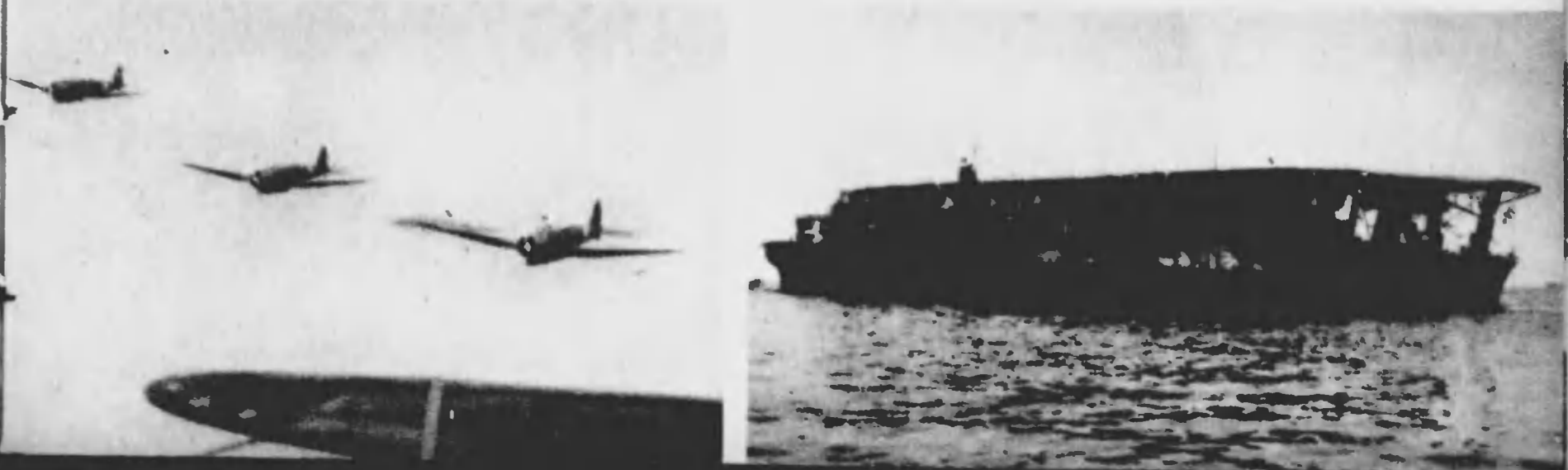


太平洋を縦横に活躍する我が航空母艦の偉容
 「敵艦見ゆ」勇躍母艦を拜れる艦上乗組員

開戦僅かに九ヶ月、既に全太平洋水域は我が海軍の覇權下にあつて、敵反攻の餘地をのこさぬかに見える。だが、最近アメリカは空軍第一主義に徹し、軍艦や船舶のうちで活用し得るもの、變更し得るものは總て航空母艦に改造してその補充に狂奔、飛行機も全力をあげて充實しつゝあると傳へられる。これは、在來の航空母艦が殆んど撃滅されたにも拘はらず、さきの第二次ソロモン海戦には新型航空母艦が活動してゐることによつても明らかであり、アメリカが口辭のやうにこの一兩年のうちに數十隻の母艦を完成、數万機の飛行機を充實して對日反撃を強行すると呼號してゐることも決して忘れてはならないのである。

もちろん、帝國海軍が、敵戦力の増強を徒らに黙視してゐるわけはなく、これを個々に撃破し、常に有利な戦術的態勢を保つて、やがては敵戦力の徹底的撃滅を期してゐるのであるが、われわれは、その進艦、その飛行機製作にも絶對に負けてはならない。敵が十隻の母艦を造るならば、われわれは、二十隻の新鋭母艦を造水させよう。この決意があつてはじめて、太平洋に不敗の態勢を築き得るのである。

今や、北はアリューシャンから南はインディアン洋まで、荒天を衝き、龍巻をかし、日夜わが海の荒鷲は、基地から、母艦の甲板から、米英撃滅に向つて飛立つてゐる。



海軍省

必中の一撃、一撃が敵艦めがけて……



北に南に
必勝不敗

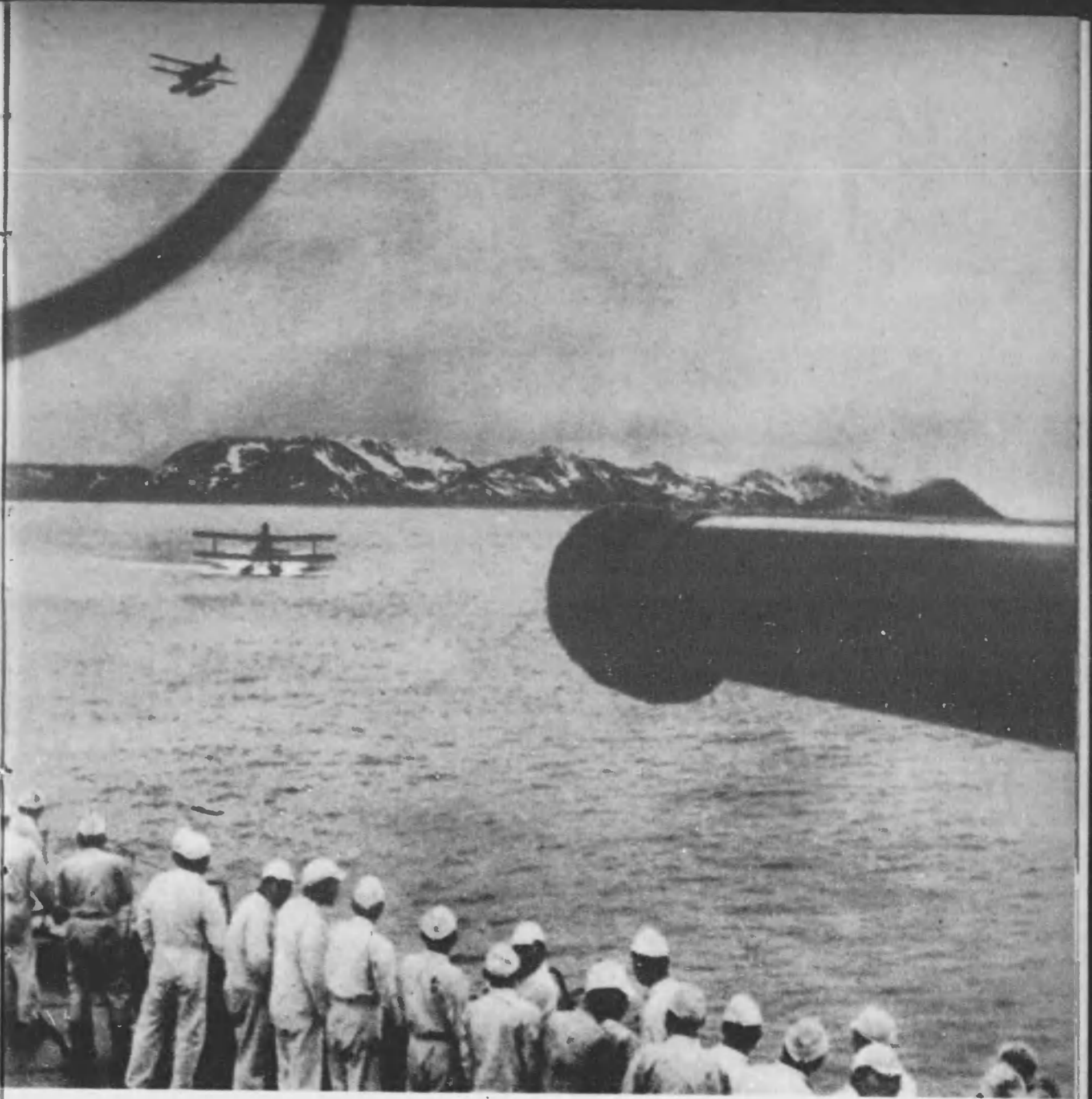
海軍の戦線



を所狭しと活躍するわが艦隊は、勝つて勝つて敵に止めをさす日まで偵察に、戦闘に、擧撃に、敵の出幕々々といいて全精力を傾けてゐる。

「俺が全軍を命にかけて歸らうとするとき、敵のカーチスホークがけなげにも飛び上つて来た。引きつけておいて射つたとき、こんなふうに着ちてくれ。同僚や整備員に武勇談をする搭乗員」

ソロモン群島を中心として廣大な海域に、わが作戦は繰展げられてゐる。晴天の南空をきつて海軍は空軍の畫圖攻撃に向ふ。



海軍省

北方の基地にわが哨戒機は任務を終へて歸つた。

最近の情勢によれば、米國アリゾナンの基地を出撃して、わが本土を空襲し、支那大陸の安全地帯へ侵入しようとする中隊中であるといふ。来れば来れ！ われにも北の側へがある！ アリゾナンのわが基地

海戦にしても陸戦にしても大抵の場合先づ戦端は空中戦によつて始められる。この空中戦に破れるならば戦ひは五分の負けである。論より證據、大東亞戦におけるわが航空兵力の壓倒的な勝利は直ちに陸上部隊を、水上艦艇を誘導して赫々たる全局的な戦果を擧げる基因をつくつたのである。見敵必殺の意氣に燃えて北に、南に大空

空の神兵

映画『空の神兵』より
撮影 本日 映 演



敵地深く、敵軍の陣地に突々と降下地点に達した。高度五百メートル、純粋な落下傘を降し、わが身を天降る。

だが結々の大戦果が全世界の驚異の前となつてゐる。戦中の一ヶ月十一日、セラベス島メナドに海軍、連日二月十四日スマトラ島パレンバンには陸軍の神兵が突如大降つた。そしてその前線と戦果に世界の耳目を驚倒させたことはいまなほ國民の記憶に新たなところである。

「ギンタナ、わが國にもこの用意があつたのか」國民の熱きと喜びの聲を他に、

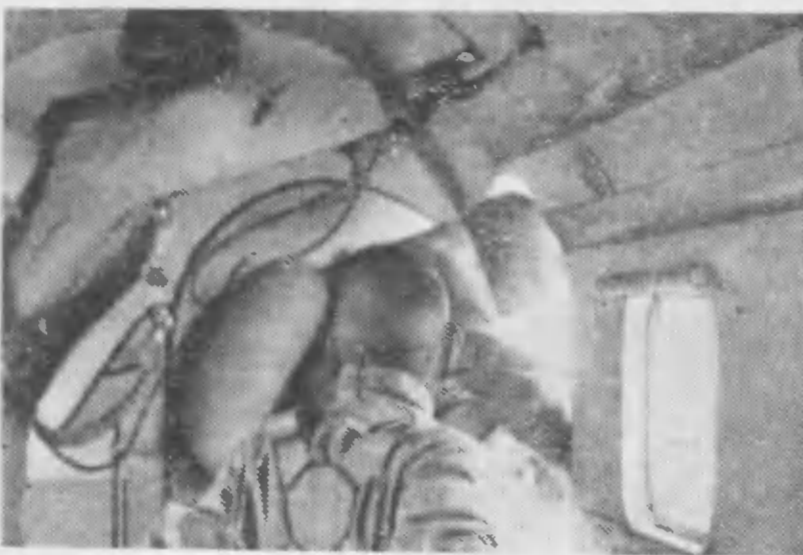


若人よ、空は君達を呼んでゐる

若人のやうに虚空へ身を躍らせてゆく



自分の落下傘に絶対の信頼をかけて



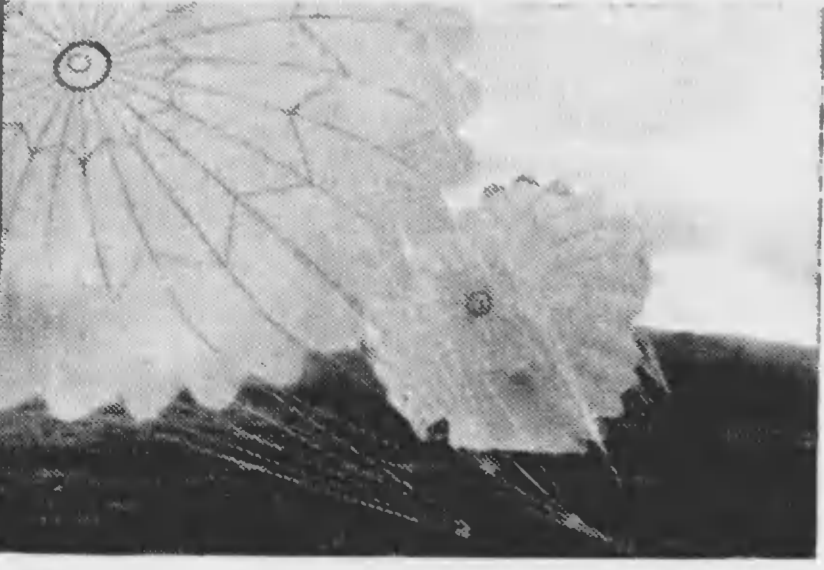
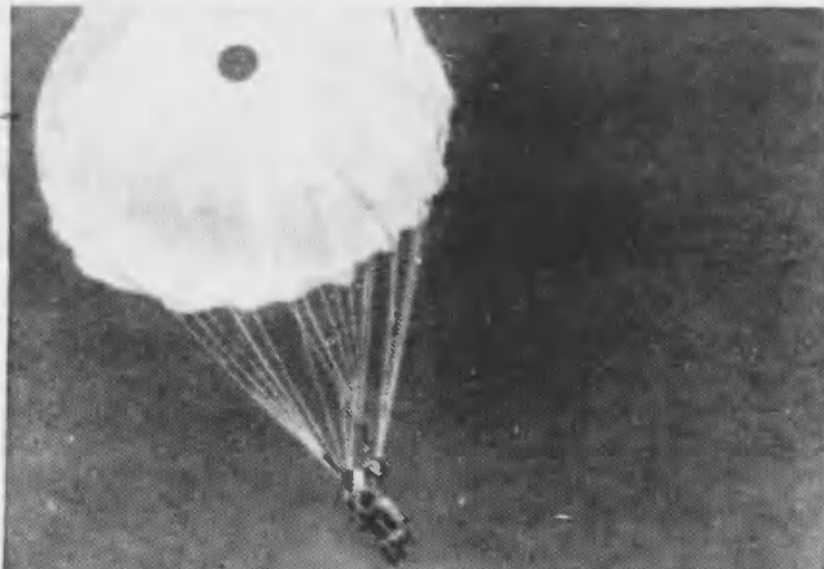
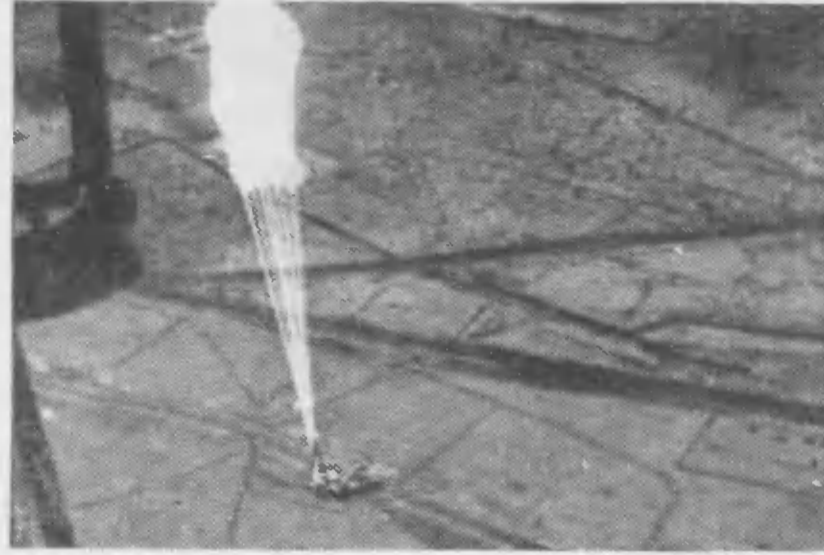
仰のやうに落下する肉體にカクといふ強い衝動



ハッといふ聲に身を聞いた

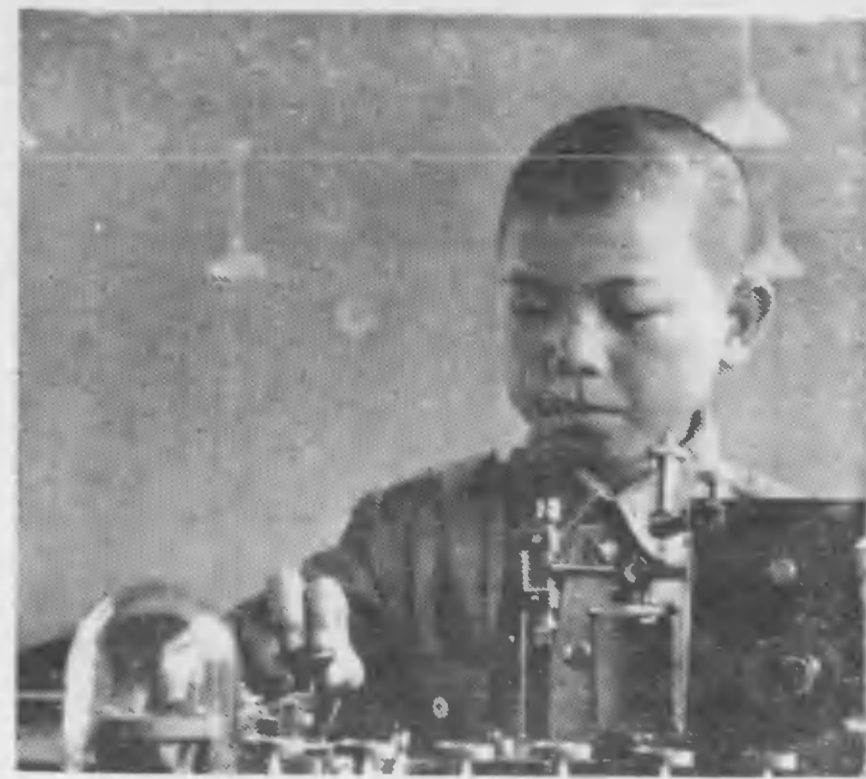
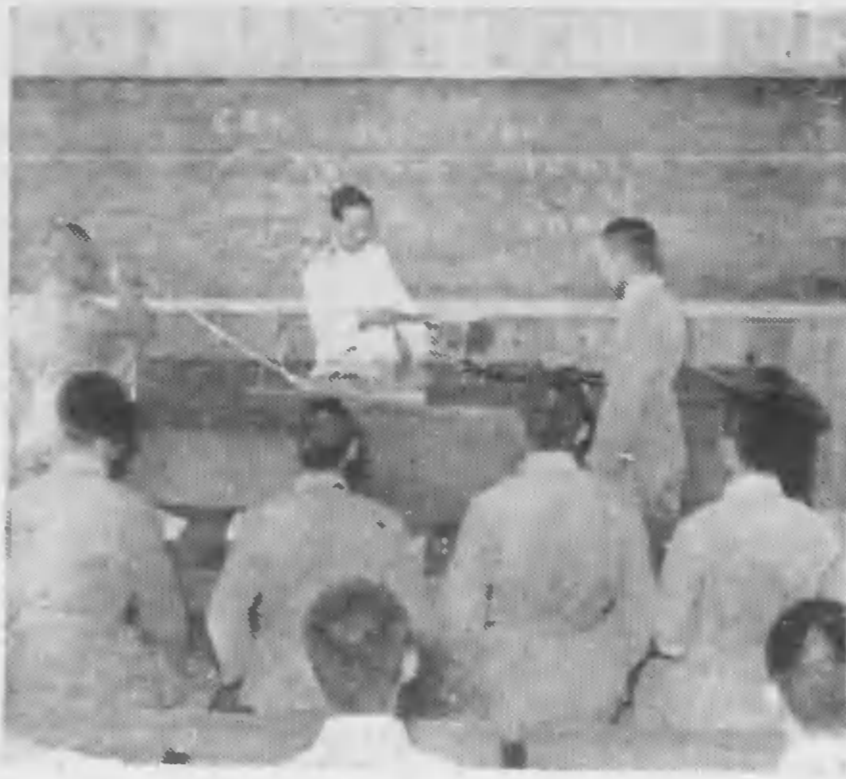


接し、戦場へ早く脱すると右に左に敵方





航空の進歩と子供達の興味を惹きつける。航空機模型の展示。航空機模型の展示。航空機模型の展示。



空は君を待つて来る

航空機の進歩と子供達の興味を惹きつける。航空機模型の展示。航空機模型の展示。航空機模型の展示。



航空の上昇なしには断じて建設されるものではない。航空機が飛ぶのは、軍用航空と民間航空とが表裏一體となつて相共に一國の航空勢力を形成してゐるといつた方が適當でせう。現に各國の民間航空を見ればわかるやうに、それは即ち假裝された航空兵力に外ならず、その差は紙一重といつても言ひ過ぎではありません。その證據はこれまででも事あるとき、旅客機から爆撃機への改造は筆をかへすやうに、直ちに戦機への出動をみてゐるではありませんか。その場合、民間航空に充用される飛行場、航空機及び乗員が、そのすべてをあげて用兵作戦に動員されることは商船が軍艦に早變りするよりも遙かに切實であるといへます。まことに敵を空から壓服するだけの乗員と航空機とを、質ともに保持してゆくためには、第一線に立つ航空部隊の背後に、毛大な航空機隊が存在してゐなければなりません。

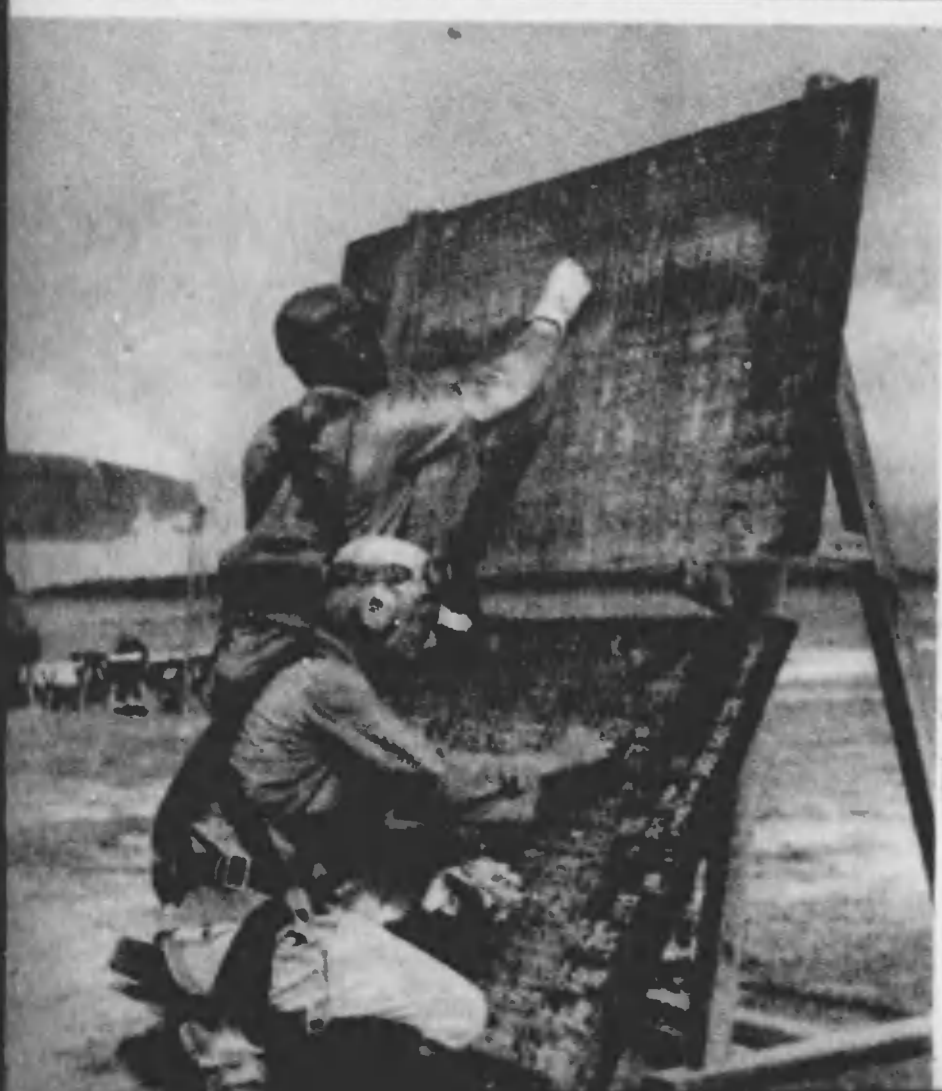
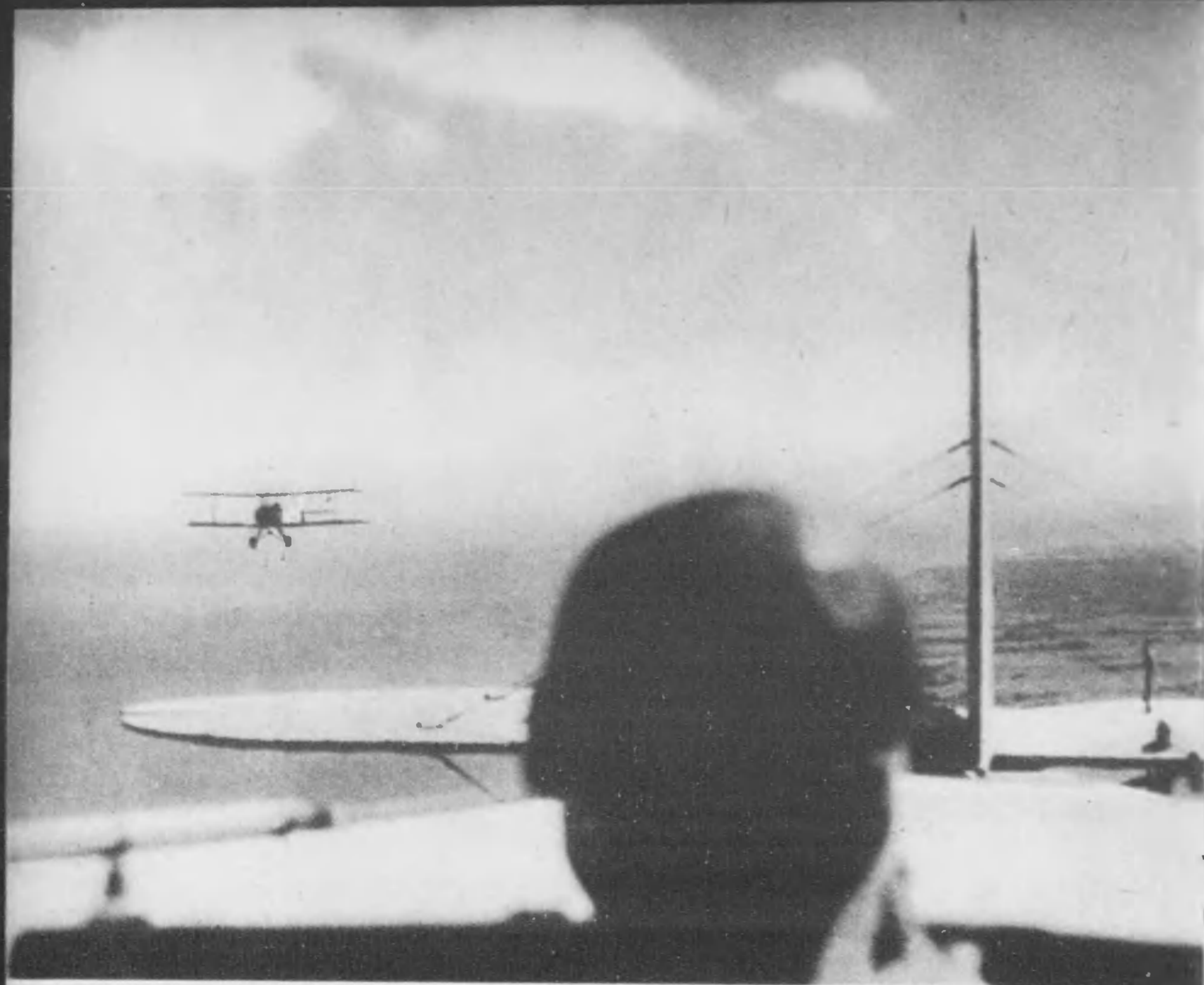
航空局では、はやくから今日あることを豫期して、航空機乗員の養成を行つてきました。が、昨年つひに中央一ヶ所、地方十一ヶ所の航空機乗員養成所を開設し、この國家の要請に應へて豫備空軍としての民間操縦士の大量養成にいま本格的な努力を傾けてゐます。

顧みれば、前大戦五年間は世界航空界の劇期的な躍進を遂げた時代でした。これによつてみても、この大戦がそれに幾倍、幾十倍した進歩を約束するかは容易に想像することができませう。大戦の時代こそまさしく空の世紀であり、同時にそれは日本の世紀でなければなりません。偉大な航空日本の建設へ、愛國の熱誠に燃ゆる諸君は、いまこそ起つてこの名譽ある任務に加はらうではありませんか。これは鳥取縣米子にある地方航空機乗員養成所で、大空を求めて羽搏く雛鷺たちの勇姿です。

航空機は國力の示威運動である。といはれたことがありますが、いま試みに民間航空の用途について一瞥してみますと、その最も重要な方面である輸送連絡のはたらきを除いても、經濟方面では魚群の探見から害虫の驅除、山火事の巡邏、牧場の監視、寫眞による測量、資源の調査と數へ上げれば、遠く、また文化方面でも宣傳、報道、氣象の觀測、極地の探險と實に多種多様であつて、しかもその利用範囲は今後ますます擴大されてゆく様です。現用民間航空機の性能は巡航時速三百キロ程度、航続時間六、七時間程度に過ぎませんが、やがて巡航時速四百キロ、航続時間十時間乃至二十時間の飛行が可能となることも決して遠いことではなく、この快速力、航続力をもつ航空機を今後國運の發展のために如何に驅使するかはむしろ明日の課題となつてゐるからでせう。

このやうに民間航空は一國の政治、經濟並びに文化の基礎であり、その推進力であるといへますが、大戦下の今日では何といつてもそれが空軍の柱となつてゐる事實を忘れてはなりません。

戦争の勝負に空軍が決定的な威力をもつてゐることは、いまさらいふまでもなく、この大東亞戦争においてもわが陸海空軍の驚異的な活躍が何よりも雄辯にそれを物語つてゐます。しかもこの強力な航空兵力も民間航空の上昇なしには断じて建設されるものではない。航空機が飛ぶのは、軍用航空と民間航空とが表裏一體となつて相共に一國の航空勢力を形成してゐるといつた方が適當でせう。現に各國の民間航空を見ればわかるやうに、それは即ち假裝された航空兵力に外ならず、その差は紙一重といつても言ひ過ぎではありません。その證據はこれまででも事あるとき、旅客機から爆撃機への改造は筆をかへすやうに、直ちに戦機への出動をみてゐるではありませんか。その場合、民間航空に充用される飛行場、航空機及び乗員が、そのすべてをあげて用兵作戦に動員されることは商船が軍艦に早變りするよりも遙かに切實であるといへます。まことに敵を空から壓服するだけの乗員と航空機とを、質ともに保持してゆくためには、第一線に立つ航空部隊の背後に、毛大な航空機隊が存在してゐなければなりません。



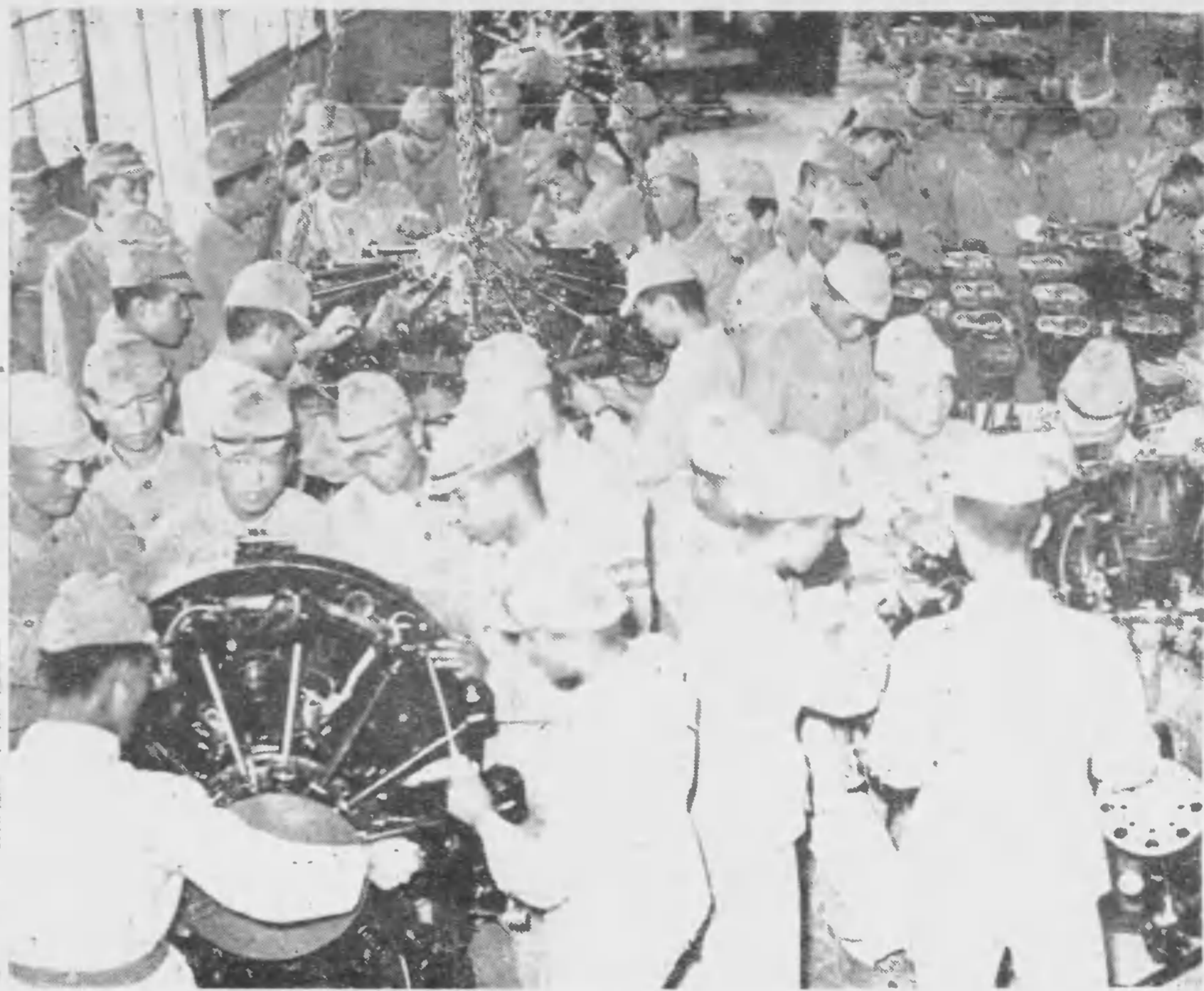
大空を心ゆくばかり飛び廻つて歸つてきた練習生は、搭乗状況を黒板に記入する。もう天晴れ一人前の若鷲だ



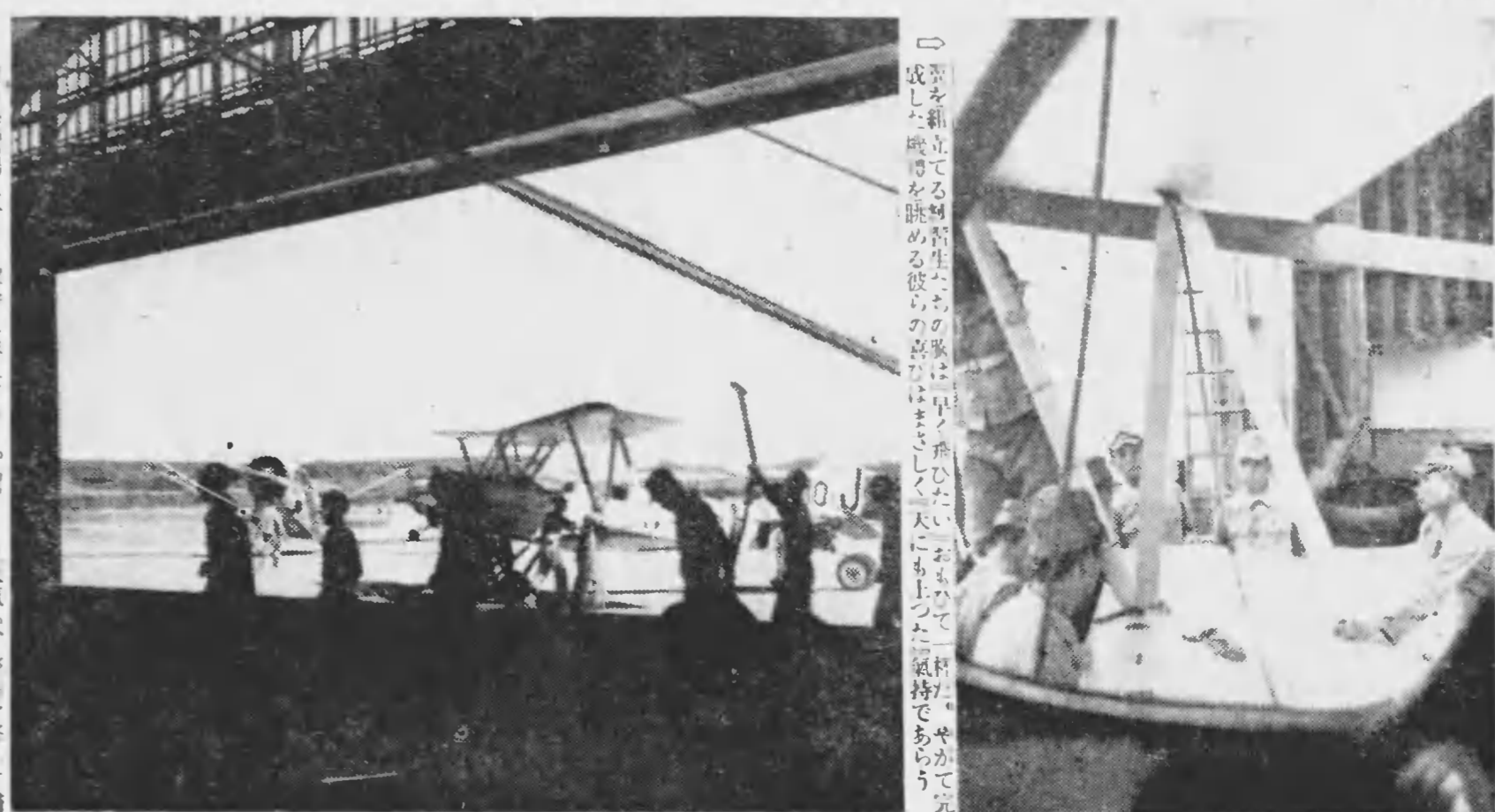
生れて初めてあこがれの空をひとりで飛ぶことのできる感激。學科に體育に地上訓練に爪ねた血のじむ勞苦もみな今日の日のためだつた

傳習室によつて同僚者と連絡をとる機上の若鷲。一羽の隊に空に雄姿をふり撒いて快翔がついでる

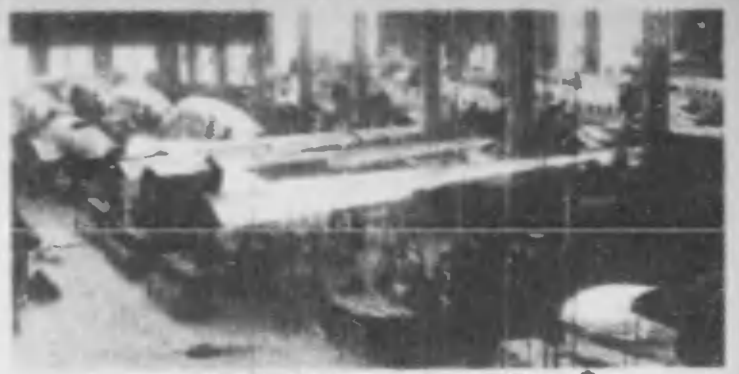
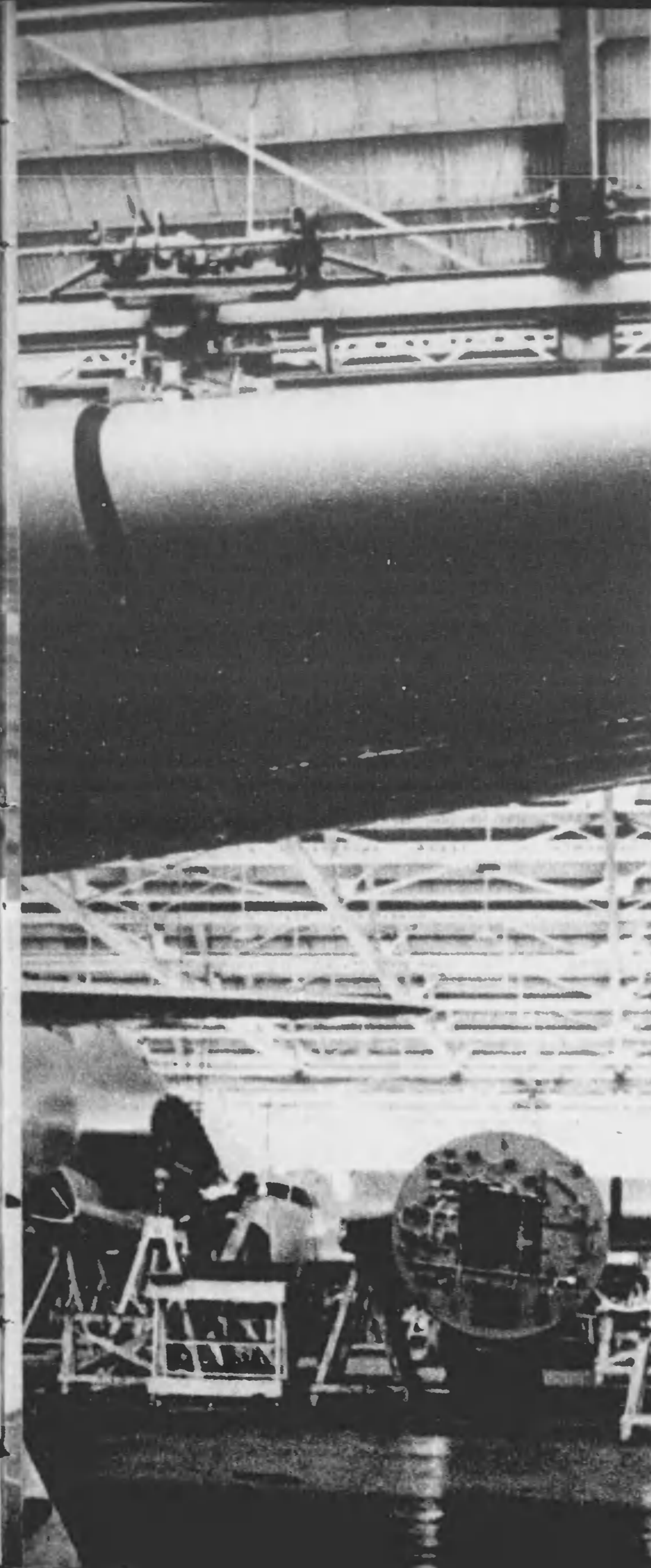
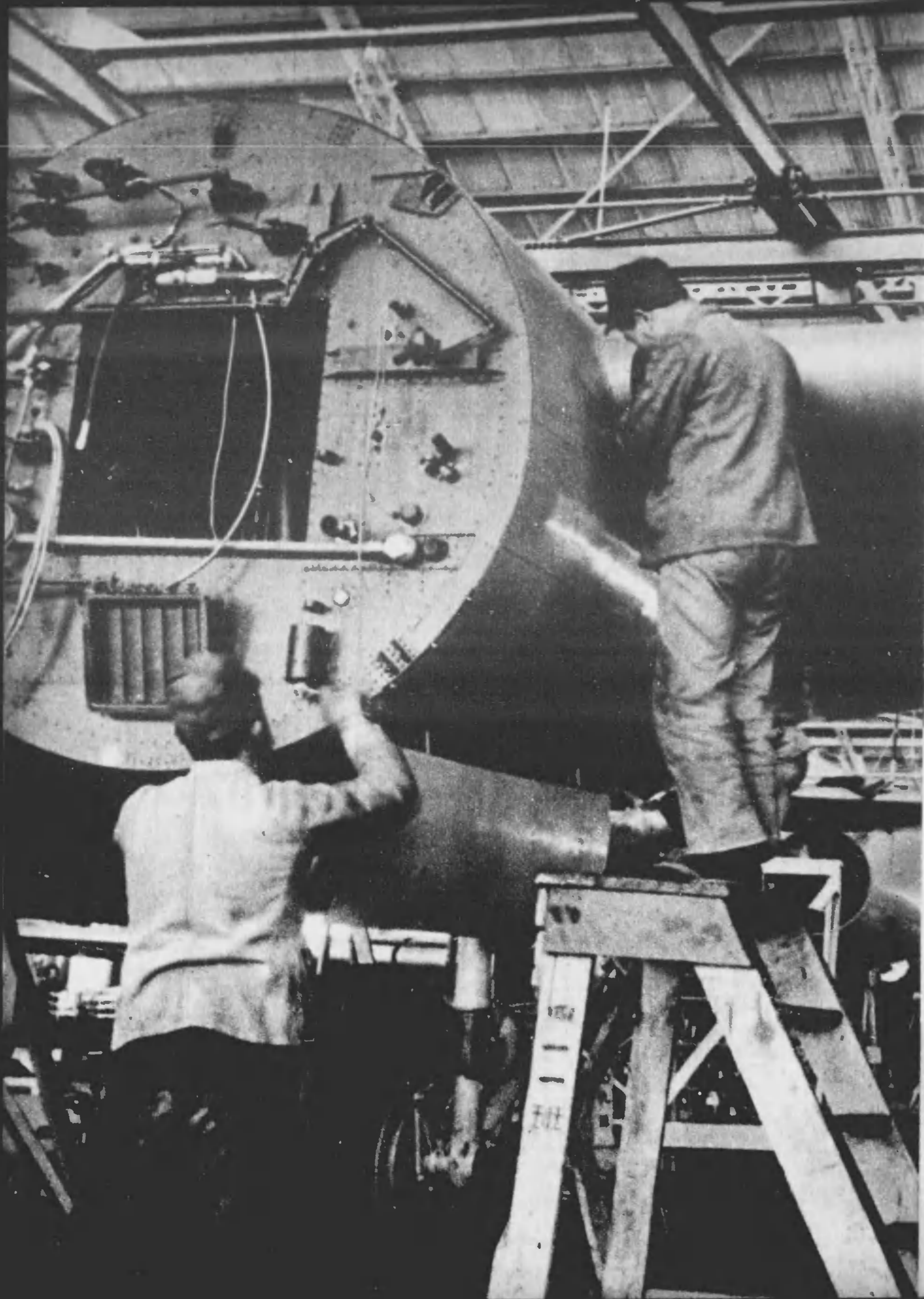
るめてつ待を君諸は空



生手機と取組んで機油にまみれる練習生。優秀な地上部隊を生み出す整備教室だ



雲を翳立てる練習生たちの影は「早く飛びたい」「おまへて一羽のやがて完成した機體を眺める彼らの喜びはまさしく天にも上つた」氣持であらう



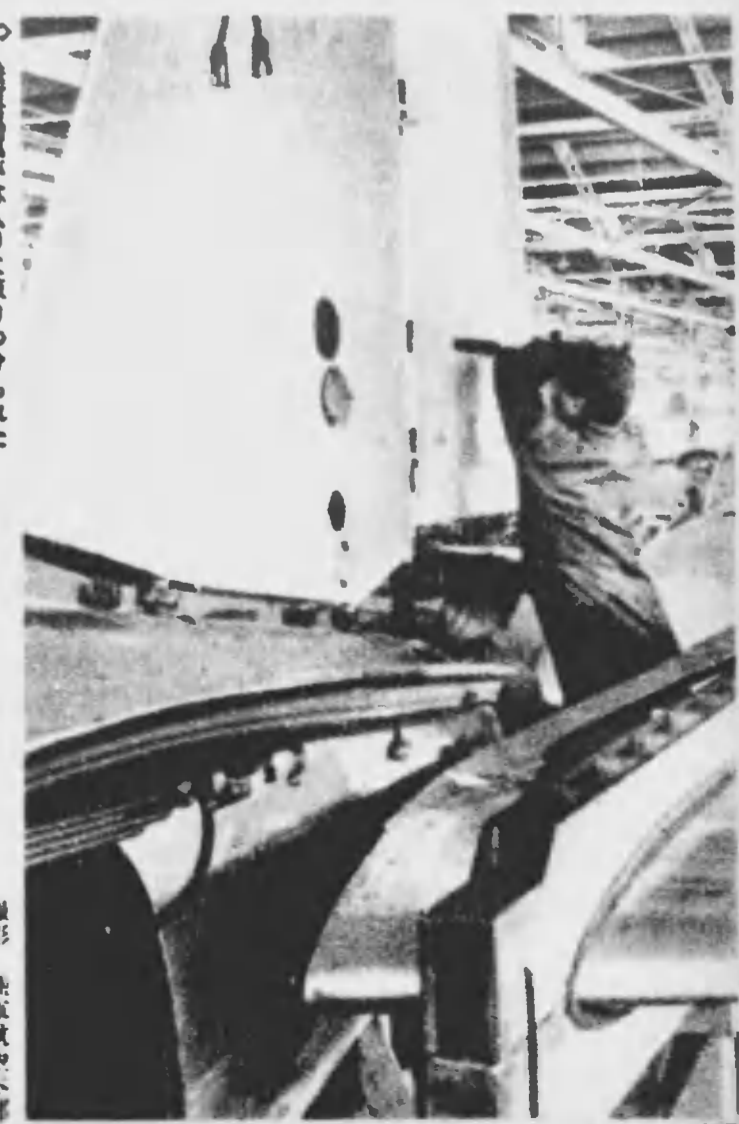
↑ 機送機の體がどしどし出まるとつた

月刊産00

陸軍新鋭爆撃機製作工場

全国のが航空機製作所では、どこもかしこも工員が汗によれ油にまみれて製作に懸命だ。爆撃機が、戦闘機が、輸送機が次々と出来てゆく。ひと度、荒鷲の手足となつて空に征けば、向ふところ敵影はない。荒鷲の技術と製作の優秀さが兩々相まつて敵米英の空軍をたゞきつぶしたのだ。だが、これで終りではない。月産四千機、五千機を承諾するアメリカだ。負けてはならない。アメリカも遠くは遠く、イギリスも遠くは遠く、だが俺たちはそれ以上にうんと造るぞ。アメリカの工場と俺たちの工場との競争だ。機場と機場の戦ひだ。頑強さぞ、頑強さぞ

□ 一本のネジも丹念に、検査が完成してゆく



□ 機場が本入りに取りつけられた

撮影 陸軍航空本部

あとの空は僕らから愛の手

大阪府布市青少年航空訓練隊

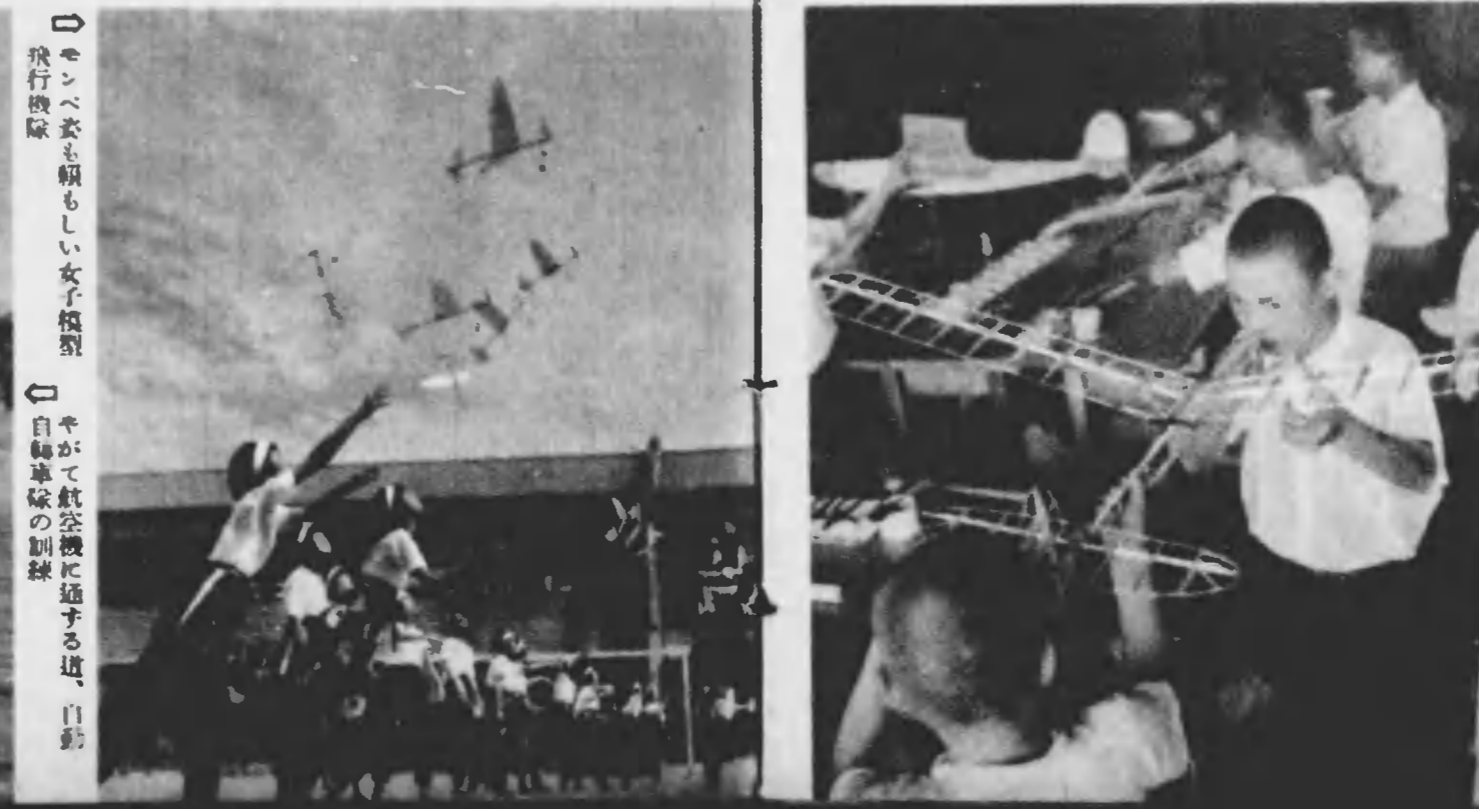
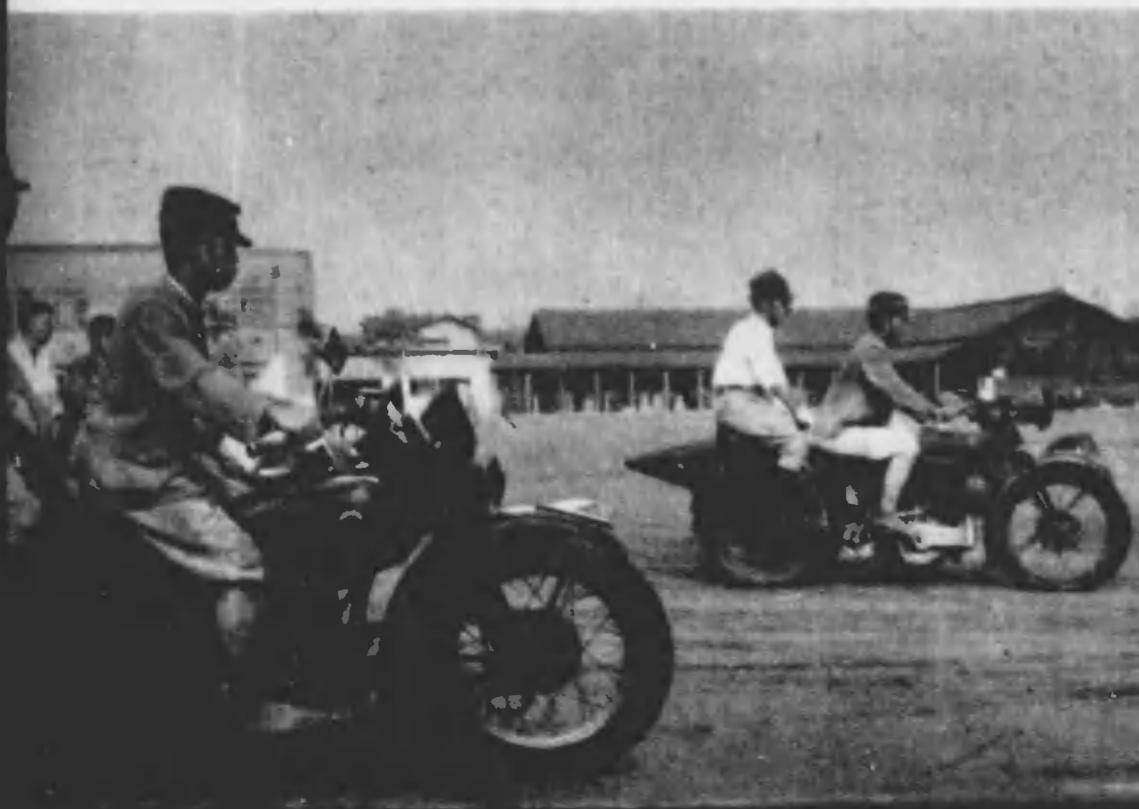
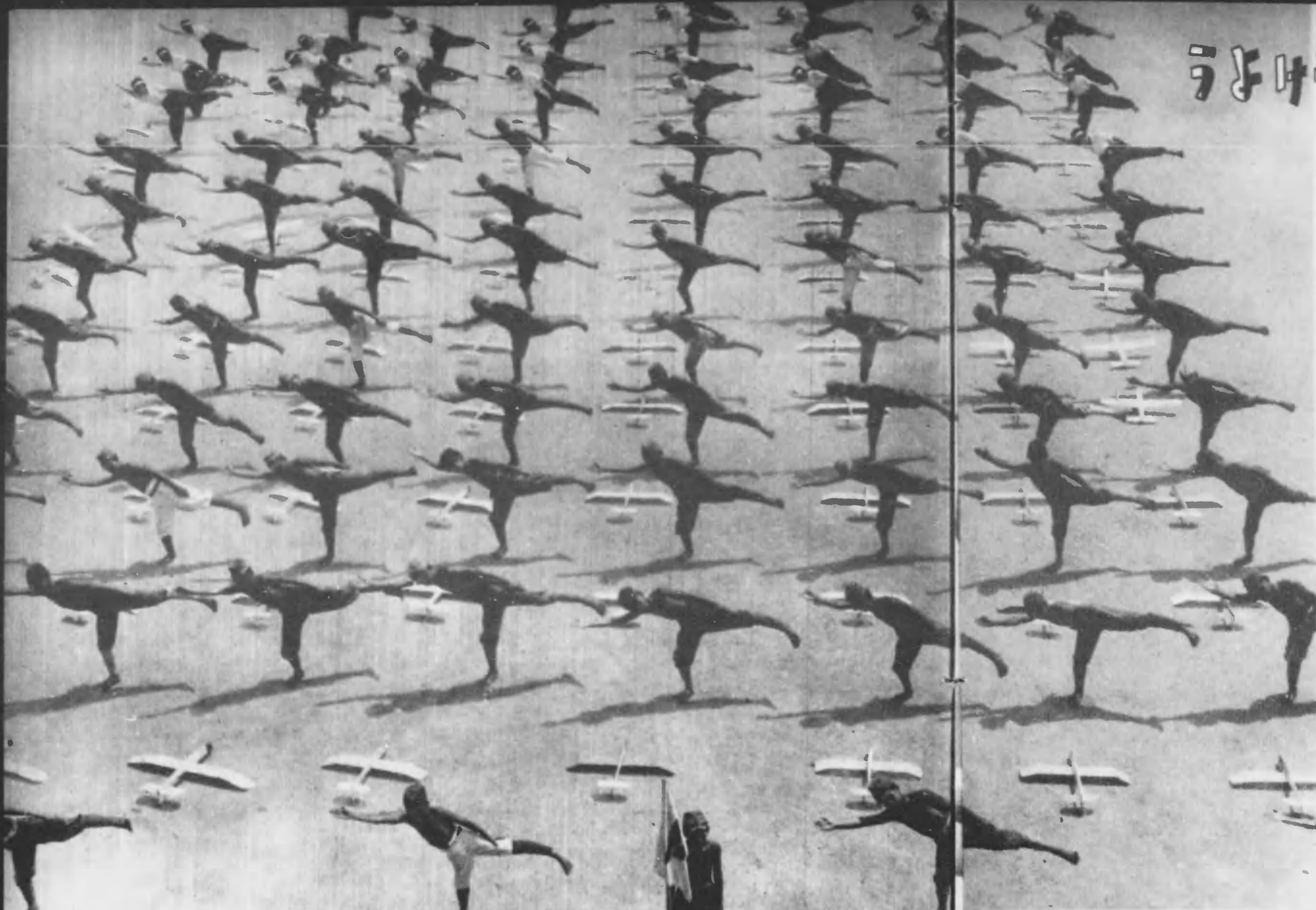
空の軍神加藤少将は「後の空をしつかり頼みます」と、少國民諸君の双肩に大きな使命を託しながら、ベンガルの洋に散華されました。さうだ、空へいかう」この懐れをやがて大空に巣立つ決意に育てあげ、軍神がのこされた大東亞の空をしつかり守らうではありませんか

ここに紹介したのは、大阪府布市青少年團の組織した航空訓練隊の一部です。この青少年團の訓練は、航空訓練に限らず、その組織立つてゐること、周到なことなどで全国に有名ですが、さきに大阪府の主催で「全国青少年團指導者大会」が同市に開かれた時も、同團の見事な練成ぶりが公開されて、全国指導者に深い感銘をあたへました。さあ、僕たちも、先生方や先輩の指導に従つて負けずに空への懐れを鍛へあげてゆきませう。

〇 糸風れた愉快な滑空訓練

〇 實際の飛行機について、航空の理論と機體の構造を学ぶ少年たち

〇 幼い科學する心を燃らして模型滑空機の製作 撮影 中野 教



〇 マンヘ姿も頼もしい女子模範飛行機隊

〇 平がて航空機に通ずる道、自動車隊の訓練



航空機の操縦者たち
山形市 田中 順一
目をあげて空へいかうと叫ばれておると、明日の航空日本のはじめを指導する国民学校の先生たち。先づ航空機の正しい知識を、山形県ではこのほど五日間にわたる航空機操縦講習会を開いて航空教育の振興に拍車をかけました。

学生鳥人の訓練大会
長野縣 三橋 健次
第三回航空日を前にして八月八日から三日間、長野縣ヶ峯高原で開かれた全日本学生航空大会は各大学、高等の学生鳥人百八十餘名による肉體豪華な競争を繰り広げて、わか国民航空の意氣を遺憾なく發揮しました。準備訓練大会より



マルビ戦記

作製社画映本日 監製青軍陸

ビルマ作戦は英國のビルマにおける軍事據點を覆滅し、支那事變解決の痛たる米英の援將進路を遮断し、併せて多年英勢力の下に押取と威政に呻吟してゐたビルマの解放と再建のために行はれたもので、大東亞共榮國建設戦の一段階として極めて重要な意義をもつものである。



敵の都へ突入したい
物凄い戦力のある機動部隊でアメリカを襲撃し、密つてきた敵の機動部隊を片端からたたく。最後には敵の大將達がかくわてる。順天理に揮舞をたたく。一度にやつつけてやろう。

全滅敵術
小泉 紫郎
落下傘で敵陣へお菓子や煙草を落とす。喜んだ敵軍の兵士がこれら拾つて食べた。これらで敵軍をつぶす。

復習室
本誌からあなたは何を学んだか？
1 日本航空隊の第一ベリを飾つた二人の軍人さんがある。誰と誰でせう？ (18頁)
2 九月〇日は航空日です。 (1頁)
3 セレベス島のメナドとスマトラ島パレンバンにわが海軍陸軍部隊が天降つた。陸軍はどこへ下りたのでせう？ (10頁)
4 わが國の民間航空隊はこれまでに五つの輝かしい金字塔をうちたてました。敵へみて下さい。 (13頁)
5 わが作戦地哨戒隊の隊長と受持つものは、敵機、飛艇、潜水艦、飛行艇、監視艇、潜水艦、特種潜水艇。 (3頁)
6 現用民間航空機の運航機はどれくらゐでせうか？ 百キロ？ 二百キロ？ 三百キロ？ 五百キロ？ 七百公里？ (14頁)
7 軍用加齢少將の愛機は新造機「〇」でした。 (4頁)
8 民間航空機の機動方面における用途について知つておられる方、お答え下さい。 (14頁)
9 カイスマP-40はどの戦闘機ですか？ (4頁)
10 航空隊の地方乗員養成所に入りたいと思ひますが、どんな資格が必要でせうか？ (12頁)
一問十點としてあなたは得點したか？

お断り
連載中の「マレーの俘虜」は航空日特報のため休載いたしました。

海軍関係の機動部隊は海軍省承認済(第五二四二號)

大東亞戦争漫日誌



僕は航空母艦の艦長
志村つね平
船頭さん、息子の死を黙って大満悦「俺には出来すぎた子供だわい」

無色透明な飛行機
杉 征夫
全部ガラスで出来た無色透明な飛行機を造つてみた。なあ、アメリカの空まで飛んで行つて、中々見えない。そこをいきなり彼等の頭上に出たら敵はきつと肝をつぶすよ。

僕らのために
小型飛行機
航空機を造つたり飛べたりする外に小型飛行機の練習がていふたい。

敵の都へ突入したい
森 熊 猛
物凄い戦力のある機動部隊でアメリカを襲撃し、密つてきた敵の機動部隊を片端からたたく。最後には敵の大將達がかくわてる。順天理に揮舞をたたく。一度にやつつけてやろう。

全滅敵術
小泉 紫郎
落下傘で敵陣へお菓子や煙草を落とす。喜んだ敵軍の兵士がこれら拾つて食べた。これらで敵軍をつぶす。

★表紙
ムク(と)後から後から湧き出る噴風雲はわが海軍の決行を阻むやうに基地の上空を覆つた。しかし敵機は「敵に見敵必殺のわが戦機隊は「敵」の下、自然の隙隙を突き破り一機また一機南の空に飛び立つてゆく。

撮影 石毛海軍報道班員

寫真週報(禁轉載)
昭和十七年九月十六日印刷發行

情報局
東京市豊町一
水田町一
内閣印刷局
東京市豊町一

定 價
一部十錢(送料一錢)
(外埠郵送は依る地域)
▲預約配達希望の方は一部十錢(送料一錢)の割合を以て前金を添へ御申込み下さい。
▲特大號の場合は其の程度御持込金より差額を申受けします。

所 達 申
全国各地官報販賣所
書店・驛賣店
新聞販賣店
寫真材料店

本誌を戦地にお送りになる場合は送料は内地と同様。封入は開封してはならない。郵費は明記すれば、郵費部負担です。

高貴週報 昭和十七年九月十二日 神奈川新聞社 印刷 同本報日發行 百九十八號



本支店出張所にて一育開胎

東京海軍銀行

内閣印刷局印刷發行

(対角線)・A4 標準定規はまき大の書本)